



西原町

あじろ たむし だま

12月議会



2022(令和4)年
3月1日発行

今回の表紙題字
坂田小学校3年 金城 優希 さん

No. 91



西原東クラブ女子

県代表で九州大会に出場しました!
とてもいい経験になりました!

3月2日(水)午前10時 3月定例会開会予定

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。



いじゅ さとる 伊集 悟 議員

■増える不登校の対応、学習の保障体制の拡充を！

問 廃止された登校支援員の復活を望む声は多い。教育相談員やSC、SSW*が対応しているが、人員不足や悩み相談の予約が取れないなど、支援不足の声がある。体制強化の予算は求めているか。

教育長 現実としてSC、SSWは十分に対応できていない。限られた中で支援体制の構築をしなくてはならない。予算枠は財政課と調整し、体制は福祉部とどう連携を図るか調査研究したい。

問 教育機会確保法の施行後、必ずしも学校復帰を目標としない、休養の必要性など不登校の対応は大きく変化。町全体でこの課題に取り組むため保護者や地域へ啓発が必要では。

教育総務課主幹 不登校の子供達はいずれ社会につながって生きていく。不登校イコール悪ではないことを町全体に周知できるように努めたい。

問 休んでいる子供達と学校とのつながりは大事。配布されたタブレットを担任や学校関係者との

コミュニケーションツールとして使えないか。

教育総務課主幹 担任や他の先生とつながることもでき、子供達に学校の雰囲気や伝えるなど、登校支援のきっかけとしても非常に有効である。

問 そろそろ休んでいる子供が学校以外で学ぶ場所を検討する時期ではないか。

教育総務課主幹 学校外での学びの場所は非常に必要だと感じる。財政的な問題もあり、今後の検討課題としたい。

■放課後の居場所保障と学校との連携強化を！

問 現在、2学童が無補助で厳しい赤字経営で継続できるかぎりぎ

りとのこと。次年度は補助できるのか。

こども課長 厳しいと理解している。次年度の予算編成計画で拡充、補助対象施設を増やせるよう、予算折衝で説明したい。

問 学童と学校の連携強化について、学童連から具体的な提案があれば対応可能か。

教育総務課主幹 大事なことなので、学童連から要請があれば適切に対応したい。

その他の質問

- IGAスクール・デジタル教材活用
- コミュニティ・スクール導入進捗
- 子官類がノウハウクチンの接種動員再開

*SC（スクール・カウンセラー）
SSW（スクール・ソーシャル・ワーカー）

でビジョン報告素案が示された。報告は跡地利用に関する基本的な考え方を定めるもので、具体的な利用方法や方向性に言及はない。

■道路行政について

問 オキコ側から坂田ハイツに入る道路及び歩道に毎日水が流

れて危険な状態。対策が必要だと思

建設部長 中部土木事務所が早急に原因を特定し、町と協力し対処したいとのこと。

その他の質問
○後期高齢者医療制度について

教育部長 以前は消滅時効2ヶ年（現在は5ヶ年）。納付が前提であり、分納等を提案している。それでも厳しい分を放棄している。

問 議会に諮る。質疑を受ける。それでこそと思うが。

副町長 債権放棄案件数700件余、膨大な負担を軽減するために地方自治法では条例で定めた場合は議決を要しない旨うたっていると思う。

■新年度予算について

問 (1) 現時点の予算編成状況は。(2) 重要課題項目は。(3) 現時点の乖離状況と最終的な乖離見通しは。

総務部長 (1) 11月下旬まで第一次査定を実施した。(2) 社会福祉費の増額、また西地区土地区画整理

事業、行政デジタル化に係る経費、教育施設の修繕費、南部広域行政組合等負担金の増額への対応がある。

(3) 10月末時点4億5千万円。一次査定後で5億5千万円程度を想定。最終的な見込みは現時点では困難。

■新型コロナウイルスについて

問 (1) 新型コロナウイルスワクチンの二回目接種状況は。

(2) 未接種者への今後の対応は。

(3) 三回目接種に向けての対応は。
福祉部長 (1) 11月28日現在2万5,222名、接種率は71.14%。(2) 令和4年9月30日まで延長し、引き続き町内医療機関の接種体制を整える。(3) 12月より町内医療機関



みやざと よしお 宮里 芳男 議員

ほどの程度進んでいるか。

建設部長 (1) (3) 民間活用し土地区画整理組合事業の業務代行方式で検討中。(2) 令和5年1月末までに坂田の大型店の撤去予定。棚原上原地区は沿道利用型施設用地及び中低層住居専用地域であり、今後地域と意見交換を進めたい。

町長 (4) 9月2日に第4回会議

力や調査を経ての結論であり、現時点では規定通り報告で対応したい。

問 どのような審議がなされているか。

企画財政課長 徴収努力をしても徴収できない場合は各課が判断し、債権処理庁内委員会で確認、議会に報告となる。

■実態把握もせず、「2ヶ年間徴収に当たっていたのか。」

問 学校給食費632件、約230万円、放棄した事由が生活困窮の為回収できず時効満了とあるが、最初から分からなかったのか。就学援助とか打つ手もあったのでは。



ぎま のぶこ 儀間 信子 議員

■債権放棄は「議会の議決事項とするべきでは。」

問 本町では西原町債権管理条例に基づき、放棄した債権を定例会に報告をしている。令和2年度に放棄した債権数710件、額370万円。行政のチェック機能である議会は、一方的に報告を受けるだけで、放

棄し不納欠損処分に至った経緯や自身等は聞くすべはない。それは債権管理条例が議会の議決に基づいて制定され、町に委任したことになるためだ。しかし、予算は議会の議決なしには執行することはできない。それと等しく放棄し、不納欠損処分にするということ自体、重要な事だ。私はこの条例を否定する訳ではない。必要不可欠な条例だと認識している。ただ、今日、町長の決裁で放棄した後に事後報告というのはいかがなものか。本条例を一部改正し、議決事項とすべきだと思つが。

町長 本条例中、放棄については、生活困窮者や破産手続により責任を免れた方、消滅時効が満了した方を対象としている。相応の徴収努

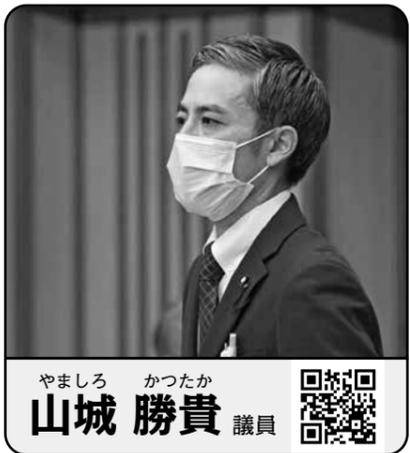


▲西原町例規集

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



やましろう かつたか
山城 勝貴 議員

幼稚園学年末休業期間について

問 幼稚園の学年末休業期間（3月下旬から4月上旬の春休み）の園児受入れについて、地域課題を取上げ、6月議会で休業期間短縮検討を要望した。その後の進捗を伺う。

教育部長 春休みの休園期間短縮

西原さわぶじマルシェの件

問 西原町農水産物流通加工観光拠点施設の売上等、営業状況はうまくいっているか。一括交付金を約15億円投入した故、特に町長の意見を聞きたい。

町長 この施設は平成24年度からの一括交付金事業を活用し、9年の歳月を経て昨年12月12日にオープンした。指定管理者の沖縄県農業協同組合によると、オープン以来、新型コロナウイルスの影響もあり、大きなイベント開催は困難だったが、令和2年度は営業期間3・5か月間の売上目標額8千万円に対し、実績1億2,200万円、また令和3年度の売上は10月までの7か月間で2億2,300万円と一年目にして順調に推移している。来場者は令和2年



まえさと こうしん
前里 光信 議員

現在5億5千万円程度の不足。一括交付金制度や次期沖縄振興計画について、国や県からの説明は。

町内在住の外国人について

問 西原町に住んでいる外国人は何か国から来ていて何人いるか。またそれらの方々は学生か、成人就労者と思うが、どのような職に就いているか。

総務部長 本町に住んでいる外

現在5億5千万円程度の不足。

町長

現時点で説明はないが、令和3年8月に内閣府から新たな沖縄振興の検討の基本方針が公表された。次年度の計画はこれまでの手法で仮の素案を県に提出。今後、進展があれば示していく。

問

次年度の事業計画の主要な施策は示せるか。また、本土復帰50年の特別な節目の事業の計画を検討しているのか。

町長 主立ったもので子供医療費無償化の拡充、認定こども園の創設、保育士確保の取組、西地区区画整理事

方向性はあるかと思われる。

企画財政課長 今、検討しているのは施設の機能を一定程度維持することと考えている。それを民間が受け入れるかはサウンディングということになる。家賃補助についてはまだその検討段階ではない。

柵原区周辺地域保存計画について

問 柵原区と連携し、ソフト面、ハード面においてどのような取組を検討しているか。

教育部長 ハード面については、予算のめどがつき次第、検討を進めたい。ソフト面は、柵原区が主体的に進めたい取組、要望があれば関係する組織と連携を図って進めたい。

国人は令和3年10月末現在、49か国550名。ほとんどが留学生と技能実習生である。

建設部長 就労に関する在留資格を有している外国人は技能実習生が大半で、令和3年10月末現在で169名である。

町内中学校卒業生の進路状況

問 町内の中学校を卒業した生徒達の進路について。普通高校、専門学校、特別支援高等学校等、その他就職した生徒達の数字で示されたい。

教育部長 令和元年度、西原中は普通高197名、特別支援高4名、未定1名で進学率99・5%、西原東中は普通高147名、特別支援高1名、未定3名で進学率98%。令和2年度、西

業の推進、区域区分の変更等を進める。ワクチン追加接種、各コロナ対策も重要。復帰50周年事業の計画として、関連写真や資料の収集、展示企画。資料や戦争体験を語る映像のアーカイブ化、月桃の歌碑建立事業等を検討。

国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用将来ビジョン検討委員会

問 報告書が示され、その後の検討はしたか。最大の懸念は何か。

町長 次回は12月17日の予定で、素案の議論の最中。地元住民への配慮、地域との調和、発展に寄与する活用となるのか、例えばホテル等について議論が必要。

柵原、翁長地区の農業振興地域の活用について

問 柵原、翁長地区（県道29号線沿い、キリスト教学院大学の下）の農業振興地域活用について、町としての見解を伺う。

町長 当該地区はポテンシャルの高い地域となってくるものと考えている。町としては当該地域の地権者の皆様がまとまり、そして土地活用の同意状況等を踏まえた上で検討していきたい。

その他の質問
○西原町児童公園管理状況について
○給食センター建て替えについて
○琉球大学上原地区キャンパス跡地利用について

原中は普通高181名、特別支援高2名で進学率100%、西原東中は普通高179名、特別支援高3名で進学率100%である。

その他の質問
○新型コロナウイルスのワクチン接種について（3回目）
○子どもの貧困の解消について
○SDGsの計画は
○西原町民の所得について
○農業の振興について
○軽石の被害状況について

町の農政について

問 「西原さわぶじマルシェ」の指定管理者からの事業報告はいつ頃か。

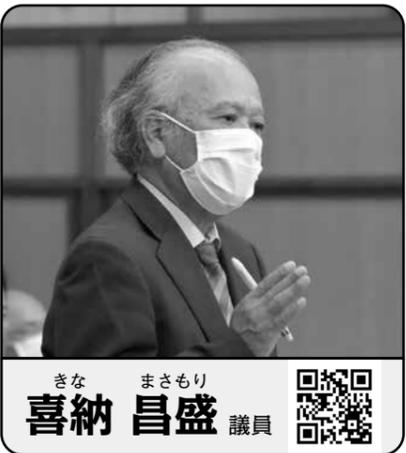
建設部長 年度の事業報告は、現在は年度終了後30日以内だが、実情を踏まえ改定予定。毎月の報告は翌月10日までとなっている。

問 耕作放棄地対策や新しい農地制度下の農地保全等の課題は。

建設部長 毎年全農地の利用状況調査を行っているが遊休農地の担い手不足が課題。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



きな まさもり
喜納 昌盛 議員

次年度の予算編成、事業計画

問 次年度の予算編成の現状は。

総務部長 6月から事業計画を作成、7月にヒアリング、10月に各課の予算要求、11月に一次ヒアリングを実施。10月末で4億5千万円の収支不足、

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



■選挙の在り方について

問 衆院選での西原町の年代別投票率は。

選挙管理委員会事務局長 10代約47%、20代約40%、30代約49%、40代約59%、50代約67%、60代約71%、70代約74%、80代以上約49%となっている。

問 期日前投票所を増やすことは可能か。

選挙管理委員会事務局長 会場や人員の確保、システムの導入やインターネット環境の整備等を考えると限られた財源での増設は厳しい。

問 現在、県内様々な市町村では子ども議会が行われている。子ども議会が議場に立ち執行部の方々に自らの目線で見た意見等を述べることで、町にとつての新しい発見と子ども達にとつて素晴らしい経験になると思う。西原町でもこの取組を行う事は可能か。

■教育環境の多様化

問 中学校のズボン等のネーム刺繍の見直し等をしていく必要はないか。

教育総務課主幹 ズボンやスカートの内側に記述できれば柔軟に対応できる。決定権は学校側にある為、提案したい。

問 西原東中学校の外履き指定靴の経緯は。

教育部長 平成元年から実施。経緯は不明だが、現在の方針では安価で経済的であり、盗難防止の観点から当面は現状を維持していく予定。

■MICE事業の現状は

問 照屋副知事との面談でどのような要望をしたか。

町長 MICEと関連して背後地

■マイナンバーカード取得促進について

問 マイナンバーカードの普及促進の取組は。

総務部長 昨年に引き続き近隣市町村と連携し、大型ショッピングセンター等での出張申請を活用した普及活動を行う予定。

その他の質問

○「17リテラシー向上の教育について」
○町男性職員の育児休暇について

■野良猫のTNR[※]の実施を！

問 TNR（保護・手術・元の場所へ戻す）活動の本町の取り組みはどうか。

生活環境安全課長 本町はTNR活動を行っているが、今回近隣市町村から有効的な事例を聞いている。速やかに実施できるようにしていければと考えている。
※ Trap（トラップ）・Neuter（ニーター）・Return（リターン）の略。

その他の質問

○軽石漂着問題について
○本土復帰50年事業について

■西地区の今後は！

問 事業執行の内訳（補償費・工事費）の執行残額を伺う。

都市整備課主幹 工事19億円、補償35億円。合わせて54億円程である。

問 県の配分が約10億円。県内10市町村が区画整理事業を行っており、単純に1億円の配分で、工事費べ

スだと19年かかると考えるが。

都市整備課主幹 社会情勢上その額になる。事業期間の令和8年までには完了できない。それを含めて説明会で説明していきたい。

■借金の中身を町民へ周知を！

問 借金95億円（R2年度末）の内50億円が臨時財政対策債。これ

は将来の世代には全くメリットのない借金である。やむを得ない事ではあるが、町民に説明をすべきでは。

企画財政課長 指摘の通りで、起債は例えば道路事業で15〜20年。次世代も享受することで許されている。臨対債はそういう性格ではないが、制度的には交付税で補填する事になる。確かに50億円余りまだ返してないので、負

明会を開催、その年度の事業計画を説明して町内企業の発注につながるよう努めている。

問 浦西でだて駅周辺の徳佐田・幸地地域の都市基盤整備の促進とあるが具体策は。

町長 幸地インター周辺及び徳佐田地区は、民間活力を利用した土地区画整理組合事業の業務代行での事業化に向けて検討中。

■一括交付金（沖縄振興特別推進交付金）の交付継続について

問 令和3年度当初予算では学習支援員派遣事業に2,278万円、特別支援教育支援員派遣事業（小中学校）に2,496万円、幼稚園特別支

■認定子ども園の運営法人の選定等について

問 運営法人の選定委員会の立上げ時期は。

総務部長 今回の取り組みに関する選考委員会の設置時期は、12月27日の予定である。

問 選定委員会での審議、決定事項は。

総務部長 事業者募集に係る募集要項、認定子ども園の運営条件、審査の評価基準などの選考に関する書類の審議に加え、プレゼンテーション審査による応募法人の評価を行い、その結果を町長へ答申するまでの作業を想定している。

問 町と運営する社会福祉法人とでの協定書も選定委員会でも策定するのか。

企画財政課長 この協定書まで範疇とは考えていない。

その他の質問

○大型マイス施設早期建設促進、背後地周辺の土地利用見直し
○委託相談支援事業について



■町長の選挙公約について

問 町内企業優先発注・町産品優先使用による企業育成とあるが、町長が考える具体的方策は。

町長 町が発注する公共事業は、これまで、町内企業優先を行っている。また地元企業を対象に公共事業説



■未来戦略ビジョン！

問 超高齢化で社会を支える中核層が減り税収が減る。国の公共投資・交付金・補助金等に余裕がなくなる。当然末端の自治体は財政が逼迫する。自主財源を確保するために、振興計画を作るべきでは。

建設部長 西原町は、工業が一番多い地域であり、当然他の町村の中でも早めに作成しないといけないと理解している。今の工業地拡大も含めながら、調査していきたい。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



いけい ひろこ
伊計 裕子 議員

■憲法公布から75年

問 国民の力で改憲策動を阻んできたが、任期中の改憲を公言する岸田首相が暴走している。平和への強い思いを持っている西原町民の町長として、憲法を変え、戦争する国づくりを進める政府に対する見解を伺う。

町長 オール沖縄、オール西原の立場で「命どう宝」「平和実現」を掲げ辺野古新基地建設の反対を始め保守・革新の垣根を超え、平和な島沖縄を目指して訴えてきた。町行政のトップとしては、何よりも町民の福祉・教育を優先すべきもの。憲法改正の議論については、国政での議論と思うのでコメントは適切ではない。

■待ったなしの気候危機問題

問 耕作放棄地を活用したソーラーシェアリング導入等の検討について伺う。

総務部長 農業経営のサポートや荒廃農地の再生利用というメリットがあると言われ、温暖化対策の視点から

は有効な手段かと思う。

問 ソーラーシェアリングに取り組み検討の余地はあるか。

産業観光課長 農業委員会、農林水産係も含め、耕作放棄地対策として地権者の理解を得て、その土地を集積。発電事業をしながら農業に従事する方に相談をして、紹介していきたい。

■特別障害者手当とは

問 特別障害者手当は、日常生活に常時特別な介護が必要な20歳以上の人に支給される国の制度で、市区町村への申請が必要。制度の詳しい内容と周知について伺う。

福祉部長 特別障害者の福祉向上を図ることを目的として、3か月分を

まとめて年に4回支給。周知方法は、広報7月・12月号に掲載。また、窓口でパンフを配布。

問 疑義照会で2016年の厚労省通知によると、特養老人ホームや3カ月以上の入院・老人保健施設・介護利用型医療施設は対象外だが、それ以外の有料老人ホーム等は対象となるか。

健康支援課長 手元に資料がないため調べてみる。

その他の質問

○デジタル行政
○介護保険施設入所者への補足給付制度見直しによる利用者への影響

■新型コロナ対策について

問 新型コロナは10月に入り落ち着いてきた状況だと思ふ。しかし今、第6波に向け3回目のワクチン接種の準備段階を迎えているが取組について伺う。

福祉部長 令和3年12月末までに2回目接種から8ヶ月経過する方へ、



おおしお りんこ
大城 純孝 議員

11月19日に3回目接種の通知を送付している。令和4年1月以降に3回目の接種対象となる方へ順次、追加接種が受けられる日の2週間前をめどに通知を送る予定。12月1日から町内医療機関で3回目の接種が受けられるよう体制を整えている。

問 本町において10代、20代、30代はデルタ株の感染率が高く人数

的にも一番多い世代だと思う。第6波の中でリスクの高い世代に対してどう対応しているのか。
福祉部長 若年層の方々の3回目の接種については、他の年代と同様に追加接種できる2週間前をめどに接種券を送付する。個別接種を基本に計画しているが、対象人数が多く町内の医療機関で接種が追い付かない場合は集

■西原の市街化区域の拡大について

問 本町においては市街化区域の拡大を予定している。住民説明会の後、事務的な手続きはどのようになるのか。またいつごろ承認されるのか。

建設部長 合意が得られた場合は、県と協議し原案を作成した後、公聴会の開催の手続きに入る。公聴会を経て本町へ意見照会があり、本町の都市計画審議会へ諮問される予定。その後、県から国土交通大臣の同意を得て都市計画の決定告示となる。告示は令和5年3月を予定。

問 市街化区域は大型MICEの関連で再拡大はあるのか。

その他の質問
○国道329号バイパス関連で工業専用地域の拡大について
○沖縄振興計画でのサンライズベルト構想の実現について
○西地区区画整理と徳佐田地域の取り組みについて

可能か。

町長 本町と伊是名村は尚円王を歴史的背景に持つ町村として、これまでも機会があるごとに伝統芸能や子供たちによる交流が行われてきた。前年度本町でも尚円王即位五百五十年記念シンポジウムを開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止した。過去の一般質問にも答弁した通り財政上の諸理由により、姉妹都市締結には至っていない。

総務部長 一括交付金事業を活用し様々な事業を実施しているが、今年度は追加を予定している事業はない。本町では特に教育関係事業に力を入れて事業を実施し、多大な効果がでている。今後とも継続して教育関係事業を行っていく予定。一括交付金の継続については重要性や必要性について、これまでの事業効果を検証し同制度を大いに評価した上で、これまで内閣府や県に継続を求めているところである。

■小波津川の完成域の除草、浚渫について

問 小波津川は雑草木が繁茂し空き缶、粗大ゴミ等の投棄がある。県に除草、浚渫を求めることが可能か伺う。



おおた あつし
大田 實 議員

■伊是名村との姉妹町村締結について

問 尚円王は伊是名村の出身で、西原町は縁の地である。姉妹町村締結により、物産展等につながり双方にメリットがあるかと思う。締結は

■一括交付金事業について

問 一括交付金を必要とする事業があるかと思うが、町で期限内にやっておく事業はないか。一括交付金の継続は可能か。

その他の質問

○平園公民館建設の進捗状況

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



やびくみつる
屋比久 満 議員

■道路行政を聞く

問 (1) 町道我謝海岸線(宿道)事業を聞く。(2) 町道兼久仲伊保線拡幅計画を聞く。

建設部長 (1) 我謝海岸線について、D-I-D*地区は街路事業になっている。東崎兼久線、兼久安室線が街

路事業である。人口集中区域外は、道路事業で、現在5路線ある。県と調整したところ、東崎兼久の街路事業が完了して、我謝海岸線の事業を調整することになる。(2) 県道浦添西原線交差点前の土地の購入が必要で、地権者と交渉を続ける。

土木課長 (1) 我謝海岸線については、令和8年度を予定している。

■MICE施設関連を質す

問 (1) 東海岸地域サンライズ協議会から県への要請内容を聞く。(2) 同協議会からの要請に対する県側の返答を聞く。

町長 (1) 平成27年のMICE誘致決定から6年経過し、議会や町民

から不安の声が上がっている現状を訴えた。早期実現に向けて取り組みを強化するよう伝え、基本計画を本年中に公表するよう要請した。(2) 照屋副知事から要請に従う形で、期待を裏切らない形で、年内に公表したいとの回答を得た。

■西原西地区土地区画整理事業関連を質す

問 (1) マクドナルド移転時期を聞く。(2) マックスバリュの最新の進捗状況を聞く。(3) 前回提案した西地区区画整理事業の住民説明会は実施したか聞く。

建設部長 (1) 県道浦添西原線事業の物件補償での立ち退きで、令和

3年度中に撤去される。移転先の情報は把握していない。(2) 建物所有者、借家人のイオン琉球他9業者に補償内容を説明し、建物所有者とは契約を締結した。また、イオン琉球と9業者から内諾を得ており年内で契約を行いたい。(3) 当該地区の説明会は、新型コロナウイルス感染症対策の為、まだ実施してない。コロナが落ち着き次第、住民へ説明会を開催したい。

その他の質問
○コロナワクチン接種関連について
○町の防災訓練について

*Densely Inhabited District(高密度市街地)の略。
インバタイド・ディストリクト)の略。
市区町村の区域内で人口密度が4,000人/㎢以上の人口集中地区のこと。

■建設工事について

問 町長選挙の際に配布されたチラシに、町内企業優先発注・企業育成とあるが、説明を伺いたい。

町長 優先発注の捉え方は、西原町内に本社がある企業や、社長や役員等が町内在住の方、営業所または工場などがある企業、そして商工会に加盟

している団体や西原町建設協力会等である。

問 町内優先とは、役員が町内にいる企業も含まれると。町内企業で十分な場合でもそのような考えか。

町長 基本は町内に本社があること。例えば企業が浦添市にあってもそこで売り上げがあったときには、その社長のところに所得が上がる。その分、



まさゆき
平良 正行 議員

納税等で貢献して頂くという意味合いもある。従業員も含めて検討すべきという事で、これまでやってきた。

問 町長就任前と就任後の土木工事の指名において、町内に事業所を置く企業の内、西原町に本社がなく、商工会や建設協力会にも加入していない企業の指名件数を伺う。

建設部長 商工会や建設協力会に

も加入していない企業の指名件数は、町長就任前の1年間、令和元年7月から令和2年8月までに2件、町長就任後の1年間、令和2年9月から令和3年10月までに2件となっている。

問 私が調べたところ、那覇市11件、浦添市11件、また中城村、与那原町、南城市の企業が指名されている。町内企業で100%工事できるのに町

外企業が2.3割から3.5割指名されている。町にメリットはない。何か原因があるのでは。

町長 例えば浦添西原建設協力会の西原浦添支部があり、いろんな形で町に貢献をして頂いている。

問 町長就任後、西原町工事請負業者指名基準及び指名審査に関する規定に違反した指名業者選定はない



▲町花木 サワフジ (サガリバナ)

問 坂田小学校、西原東小学校、西原南小学校、西原小学校、西原中学校、西原東中学校の和式便器から洋式便器へのトイレ改修計画を聞く。

町長 町立小中学校トイレ改修については、令和4年度での全小中学校の洋式便器への改修に向けて順次準備を進めている。今議会において、トイレ改修設計業務委託料の補正予算を追加議案として提案する予定となっている。

■マイナンバーカード登録窓口対応策

問 マイナンバーカードの登録者に今後2万ポイント付与される時の窓口業務対応策について聞く。

総務部長 マイナポイント2万円分の付与が決定した後、広報紙やホームページ等による住民への周知及び支援員によるマイナポイント申請支援を引き続き行う予定である。併せて住民への利便性を図るため、休日交付窓口時間の延長、夜間交付窓口実施回数増の検討を行っていきたいと考えている。

その他の質問
○認定こども園について
○GIGAスクールについて



ながはま
長浜 ひろみ 議員

■通学路の安全対策グリーンベルトについて

問 小学校の通学路安全対策で、グリーンベルト設置の今後の計画を聞く。

町長 町内小学校の通学路におけるグリーンベルト設置については、令

■小中学校のトイレ改修計画

和4年度は坂田小学校区及び西原南小学校区、西原東小学校区での設置を計画している。設置箇所は、坂田小学校区が町道道翁長上原線のキリ短入り口付近、西原南小学校区が町道与那城安室線の中央公民館付近、西原東小学校区が町道嘉手刈小橋川線を含む西原東幼稚園から小橋川公民館付近までの区間を予定している。西原小学校区の通学路におけるグリーンベルト設置については、

現況歩道が設置されている区間や街路事業予定区域等もあるので、設置範囲について検討、調査を行い、早い時期に設置できるよう取り組んでいく。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



■まずは整備から

問 船溜まりには廃船があるのか。今後管理をどのように考えているのか。

建設部長 廃船、車両等が放置さ

れている。不法投棄物については、所有者がいるはずだが不明な状態であ

り、法令上勝手に撤去することができない。県にも協力を要請しているが、進展がない状況。今後の管理については、施設所有者の県に対して対策を求めながら、町も協力できる部分は一緒に取り組んでいきたい。

問 放置された船や車はどれぐらいの数があるのか。

産業観光課長 数としては、船が50隻、また車が2台である。

問 私は、船溜まりの機能を持ちつつ、マリネリジャーの場所として活用ができると思っているが町長はどうか。

町長 本来は観光に結びつけるのであれば、その方向性もいいたろうと思うが、港湾施設であるから、そのあ

たりを何とか解決をしながら、前向きな形で県とも相談ができればと考えている。

■児童クラブと学校の連携は

問 現在、気になる子の学校での様子は、学童独自で学校と話し合いをしていると思う。学童とこども課が話し合える場合に、教育委員会も入って情報共有することは検討できないか。

福祉部長 昨年11月に3者で意見交換会実施後、コロナ禍で取り組めていない。引き続き情報共有の場を持つよう、教育委員会との調整を図っていききたい。

問 教育委員会としては、子供達の居場所と学校との連携について

はどのように考えているか。

教育総務課主幹 私たちも情報共有が必要だと感じている。町内の小学校と学童の関係性は、やはり双方の努力の下で成り立っている。教育委員会としては、こども課と常に連携を取っており、非常に重要と認識している。今後も児童の安全確保の一端を担う学童との連携を図れるよう教育委員会として、学校側を支援していく。

その他の質問

- これからの財政プランは
- 町民の関心を高める発信を
- 工業用地の先行取得は？
- 農水産物流通・加工・観光拠点施設の地産地消は
- 学童児童の待機児童解消へ向けて

各議員の一般質問が動画で見られます!!

各議員の氏名横のQRコードから

伊集 悟

■増える不登校の対応、学習の保障体制の拡充を！

教育長 現実として、SSWは十分に対応できていない。限られた中で支援体制の構築をしながら進めたい。予算枠は財政課と調整し、体制は福祉部と連携を図るか調査研究したい。

問 教育機会確保法の施行後、必ずしも学校復帰を目標としなく、休養の必要性など不登校の対応は大きく変化。町全体でこの課題に取り組むため保護者や地域へ啓発が必要では。

教育総務課主幹 不登校の子供達は

議員研修

議員報酬等調査特別委員会（宮里洋史委員長）は、12月1日に沖縄県町村議会議長会の石垣 安秀氏を講師に招き、全議員を対象に議員報酬に関する研修会を開催しました。講師からは議員報酬のあり方や他町村の動向等について講話いただきました。同委員会では、議員報酬について引き続き議論を継続してまいります。

▲議員報酬研修会の様子

令和3年第7回臨時会 議案議決等結果		
議案第56号	令和3年度西原町一般会計補正予算について	原案可決

令和3年第8回定例会 議案議決等結果		
議案第57号	令和3年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第58号	南部広域行政組合を組織する市町村数の減少及び組合規約の変更について	原案可決
議案第59号	南部広域行政組合からの北大東村の脱退に伴う財産処分について	原案可決
議案第60号	沖縄県町村交通災害共済組合の解散に関する協議について	原案可決
議案第61号	沖縄県町村交通災害共済組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	原案可決
議案第62号	沖縄県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について	原案可決
議案第63号	西原町個人情報保護条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第64号	西原町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第65号	令和3年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第66号	令和3年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第67号	令和3年度西原町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第68号	令和3年度西原町一般会計補正予算について	原案可決

みなさんからの 陳情・意見書・決議 はこうなりました

12月定例会・臨時会で審査した陳情・意見書・決議の結果を報告します。

陳情第 878 号	令和 4 年度福祉施策及び予算の充実について (要請)	沖縄県社会福祉 施策・予算対策 協議会		配布
陳情第 879 号	沖縄の人々を先住民とする国連勧告の撤回を求める決議を求める陳情	一般社団法人 日本沖縄政策研究 フォーラム	総務財政 常任委員会	継続審査
陳情第 880 号	小那覇マリンタウン線から工業用地へ通ずる道路 (通称スク道) 及び西原東中学校近くの交差点への信号機設置についてお願い	小那覇自治会及び 西原町産業通り会	総務財政 常任委員会	採択
陳情第 882 号	マスクに関する陳情書	子供たちの明るい 未来を考える会		配布
陳情第 883 号	5 歳から 12 歳の新型コロナワクチン接種のお知らせ内容に関する陳情書	子供たちの明るい 未来を考える会		配布
陳情第 884 号	5 歳から 12 歳の新型コロナワクチン接種告知の方法と接種券に関する陳情書	子供たちの明るい 未来を考える会		配布
陳情第 885 号	マスク強要指導に関する陳情書	鶴巻 守		配布
陳情第 886 号	5 歳から 12 歳の新型コロナワクチン接種のお知らせ内容に関する陳情書	鶴巻 守		配布
陳情第 887 号	PCR 検査に関する陳情書	鶴巻 守		配布
陳情第 888 号	青少年児童への恒久的なマスク着用の有害性についての調査と配慮を求める陳情書	マスクの恒久的着 用の有害性を懸念 する有志の会		配布
陳情第 889 号	超高齢化社会にチャレンジするシルバー人材センターの決意と支援の要望	公益社団法人 西原町シルバー 人材センター	建設産業 常任委員会	継続審査

〈継続審査分〉

陳情第 875 号	車輛減速用路面標示・カーブミラー設置及び外灯設置助成金要請について	我謝自治会	建設産業 常任委員会	一部採択
-----------	-----------------------------------	-------	---------------	------

〈意見書・決議〉

意見書第 15 号	軽石の大量漂流・漂着に関する意見書	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
意見書第 16 号	米軍普天間飛行場所属 MV-22 オスプレイからの水筒落下事故等に関する意見書	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
決議第 6 号	米軍普天間飛行場所属 MV-22 オスプレイからの水筒落下事故等に関する抗議決議	3 常任委員長	本会議即決	原案可決



いつでもできるバスケットパークがあったらいいな！
坂田小学校 6 年 外間 友理夏



赤ちゃんから、お年寄りまで、みんなが笑顔になれるイベントをたくさん開催してほしい！
西原小学校 6 年 平 歩佳



西原町にフットサルパークを作ってほしい！
西原東小学校 6 年 我部 丈一郎



働く意味や喜びが味わえるお仕事体験施設がほしい！
坂田小学校 6 年 名嘉山 星奈



動物達にも優しい町になってほしい！
西原小学校 1 年 玉那覇 卓実



アスレチックやロッククライミングがある公園が欲しいです！
西原東小学校 3 年 メナヘンケイト 乃愛

僕たち私たちの 声 を聞いて！ こうなってほしい西原町！

町内の小中学生に西原町に期待すること、望むことを聞きました。 協力：西原町 PTA 連合会



自然がいっぱいの町になってほしい！
西原南小学校 2 年 高屋 武いさほ



モノレールを通るようにして交通を良くしてほしい！
西原中学校 3 年 梶 壮



笑顔とお花でいっぱい
の西原町になってほしい！
西原東中学校 1 年 平 陽葵



みんなが、笑顔いっぱい
の町になってほしい！
西原南小学校 3 年 平良 颯将



これ以上開発しないでほしい
自然を大切に
する町づくり！
西原中学校 3 年 浜里 爽愛



西原町中学生海外短期留学を復活させてほしい！
西原東中学校 2 年 金城 寿琉

議会活動

表彰関係

長年にわたり町議会議員として住民福祉の向上に尽力したとして、10月5日付で総務大臣より本町議会議員の新川 喜男議員に感謝状が贈呈され、12月10日の12月定例会閉会后、表彰伝達式が行われました。



▲新川 喜男議員 (左)

建設産業常任委員会

建設産業常任委員会 (大城 純孝委員長) は、10月15日に委員会を開催し、9月定例会で継続審査とした我謝自治会からの陳情「車輛減速用路面標示・カーブミラー設置及び外灯設置助成金要請について」の審査のため現場視察を行いました。(陳情については、12月定例会で一部採択) また、同日には7月に大雨で崩落した町道翁長1号線の視察も行いました。



▲陳情のあった我謝地内の視察



▲崩落した町道翁長1号線

表紙の題字と写真を

お寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか?

表紙の**題字**(『議会だより』の文字。横書き)と**写真**を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会 (伊計 裕子委員長) は、11月19日に委員会を開催し、西原町PTA連合会の役員と教育分野における現状や課題等について意見交換を行いました。頂いた意見をこれからの政策提言等に活かしてまいります。



▲町P連との意見交換

送付先 議会事務局 (担当: 漢那)

TEL 945-5122 FAX 945-5045
mail: gikai_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

総務財政常任委員会

11月12日

総務財政常任委員会 (真栄城 哲委員長) は、11月12日に所管事務調査のため沖縄県MICE推進課を訪ね、マリンタウン地域に建設予定のMICE施設の進捗状況や今後のスケジュール等について説明を受けました。県の担当者からは、MICE開催の需要調査を行うことや、施設の見直し、民間資金の活用等について検討中であるとの話がありました。

12月9日

総務財政常任委員会は、12月定例会中の12月9日に委員会を開催し、小那覇自治会と西原町産業通り会からの陳情「小那覇マリンタウン線から工業用地へ通ずる道路(通称スク道)及び西原東中学校近くの交差点への信号機設置についてお願い」を審査しました。(陳情については、12月定例会で採択)



▲県職員によるMICE施設の説明



▲陳情者を交えての陳情審査

題字制作者



坂田小学校3年

さんじょう ゆうき
金城 優希さん

【ひとこと】

学級委員長として、頑張っています。みんなのことを引っ張って、まとめていくのが目標です。これからも、みんなのために活かしたいと思います。

12月議会の傍聴者

延べ人数

6人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ
西原町議会事務局
TEL:098-945-5122

議会広報調査特別委員会
副委員長 伊計 裕子

「非核反戦平和都市宣言」の町、西原町民の反戦への思いを胸に、平和憲法を守り、軍事力ではなく、憲法9条を生かした外交力で戦争を防ぎ、平和を創り出す1年にしていけたらと思います。

しづやき

今年も復帰50年。「基地のない平和の島へ」「平和憲法の下へ」を願い復帰したはずですが、50年経ても基地はなくなるどころか強化され、県民の民意を無視し、新しい基地さえ造られようとしています。さらに、平和憲法の根幹である9条を変え、「敵基地攻撃能力」保有の実現で、戦争する国づくりに突き進むうとしています。